

授業概要

この授業では、心理学における言説や実証的な証拠に基づいたカウンセリングに必要な基礎的な知識を紹介します。「カウンセリング」という言葉はテレビ等でよく出てきます。テレビの「カウンセリング」という言葉が意味している部分と心理学のカウンセリングはどこが違うのでしょうか。前半では、テレビのような身近な具体例を多用して、心理学でのカウンセリングの大枠を理解できるようにし、理論によって分かれている様々なカウンセリングに共通する必要不可欠な要素を学習します。後半は、心理学の様々な理論に基づいて開発されたカウンセリングの方法を学習します。

授業計画

| | |
|------|-----------------------------------|
| 第1回 | 授業内容の概要説明、授業の進め方、評価方法などのオリエンテーション |
| 第2回 | カウンセリングとは：カウンセリングの意義と役割 |
| 第3回 | カウンセリングの基礎的な内容 |
| 第4回 | カウンセリングとカウンセラーの実際 |
| 第5回 | カウンセリングにおける相談内容 |
| 第6回 | さまざまな領域におけるカウンセリング：カウンセリングの近隣領域 |
| 第7回 | カウンセリングの方法（1）：プロセスとコンテンツ（1） |
| 第8回 | カウンセリングの方法（2）：プロセスとコンテンツ（2） |
| 第9回 | 中間レポート作成 |
| 第10回 | カウンセリングの方法（3）：認知行動療法（1） |
| 第11回 | カウンセリングの方法（4）：認知行動療法（2） |
| 第12回 | カウンセリングの方法（5）：交流分析（1） |
| 第13回 | カウンセリングの方法（6）：交流分析（2） |
| 第14回 | カウンセリングの方法（7）：マイクロカウンセリング（1） |
| 第15回 | カウンセリングの方法（8）：マイクロカウンセリング（2） |
| 第16回 | 最終レポート作成 |

到達目標

全てのカウンセリング理論に共通している基礎的な知識を習得することを目標にします。

履修上の注意

授業内で2人組や3人組などのグループを作るように指示することがあります。初対面の人や友人以外の人と話しをすることが極端に苦手な人は履修しない方がよいです。

予習復習

授業で紹介できることは、カウンセリング論のごく表面的な部分のみです。授業で適宜参考図書を紹介しますので、各自で発展的な学習を行うことを希望します。

評価方法

平常点（受講態度、提出物等の約束事の遵守の程度）が3割、レポート（中間レポート、最終レポート）が7割です。第1回の授業で、評価方法の詳細を説明します。

テキスト

資料を配布するので特に指定しません。参考図書は授業中に適宜紹介します。